

ふくさき



田原小学校運動会（9月21日）

9月定例会	25年度 各会計歳入歳出決算を認定	2
委員会報告	総務文教・民生活まちづくり・福崎駅周辺整備	7
ここが聞きたい！	一般質問（10人が町政を問う）	10

25年度一般会計決算

5年連続の黒字に

9月定例会は9月5日に招集され、29日まで25日間の会期で開かれました。今定例会では、町長から提出された平成25年度一般会計、各特別会計および水道事業会計の決算をはじめ、平成26年度一般会計補正予算など議案を審議しました。

25年度各会計歳入歳出決算を認定

25年度歳入歳出の決算認定を求める議案は、決算審査特別委員会を設置して、9月10日から4日間にわたり、収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の町政に生かすべき課題について慎重に審議しました。

定例会での主な質疑

議員 監査委員から提出された意見書の中に、法定等で定められた以外の繰出金については、受益者が負担すべきとの記載があるが、独立採算性になると住民が途方もない大きな負担を強いられるようになる。この点についてはどう考えるのか。

代表監査委員 施策として 町が独自に繰出すことを否定しているものではないです。しかし、受

議員 益等関係のない住民の税金を法定分以外に繰り出す場合には、その必要性について町民の理解を得ることが肝要であると考えます。

議員 財政調整基金などに約3億4000万円積み立てている。この基金は将来どのように使うのか。

企画財政課長 例えばふるさと応援基金の中の三木家住宅に関する基金は、

三木家が一般公開されるときに活用したいと考えています。他の基金を、いつ、どれくらい使うのかについては、予算の段階で必要性を検討し取り崩して活用します。

議員 24年度と25年度を比較すると職員の時間外勤務手当が400万円も増加している。その理由は何か。

総務課長 主な理由は、25年度には参議院議員選挙、兵庫県知事選挙など選挙事務が増えています。その他、福崎駅周辺整備や公共下水道の夜間工事などについても、事務が増加しています。

議員 職員は、能率よく仕事をし、できるだけ時間内に事務をこなし、また、健康管理に努めてもらいたい。

総務課長 各課の業務量を把握し、次年度の人事配置に配慮します。

決算審査特別委員会での主な質疑

委員 不納欠損と収入未済についてどのような評価をしているのか。

税務課長 債権管理条例に基づき執行停止を行い、3年経過しても状態が変わらないものは不納欠損としています。

委員 外出支援サービスは、役場を中心に半径15km以内の医療機関に通える制度です。15kmに限定する必要性が薄いと考えるがどうか。

健康福祉課長 現在の基金保有額は約1億5000万円です。そのうち、26年度に国庫へ約2400万円返納するため残りが約1億2600万円になります。広域化になるまでの3年間で3300万円ずつ取り崩し、約1億円を保険料へ充てる計画です。



多目的ドーム建設現場の視察

- 決算審査特別委員会**
- 委員長 難波 靖通
 - 副委員長 高井 國年
 - 委員 北山 孝彦
 - 委員 木村いづみ
 - 委員 城谷 英之
 - 委員 前川 裕量

25年度の主な事業

【一般会計】

八千種幼稚園建設工事
 町道八反田八千種線整備（八千種地内）
 長野橋歩道橋整備（継続事業）
 県指定文化財大庄屋三木家の保存修理
 （継続事業）
 役場庁舎耐震等整備事業（26年度に繰越）
 多目的グランド整備事業（26年度に繰越）

【公共下水道事業】

福崎工業団地地区下水道詳細設計業務
 八反田東地区面整備工事
 南田原地区舗装本復旧工事
 上中島地区面整備工事
 川端雨水幹線工事

【水道事業】

福田水源地高度浄水処理施設整備事業

監査委員の意見（要旨）

監査委員 高寄辰則
 宮内富夫

審査に付された各会計歳入歳出の計数は適正妥当であり、おおむね所期の目的を達成したものと認めました。

本町においては、「活力に満ち、調和のとれた、住みよい、豊かなまちづくり」を推進し、平成25年度においても具体的な施策展開が図られてきました。経済状況は、「緩やかな回復基調が続いている」とされていますが、まだ地方にはその影響がおよんでいないと言われており、本町においても引き続き厳しい財政運営が求められることと思います。特に、人口構造の高齢化、少子化の進展により社会保障費が増加するなかにおいて、福崎駅周辺整備事業など社会基盤整備事業を持続的に進めていくためには、強固な財政基盤を実現・維持することが、本町の課題とされます。

こうした現状を踏まえ、これまで以上に、経済性（より安く）、効率性（より多く）、効果性（より効果のある）の視点を基本に、費用対効果や将来負担の視点を持った適正な財政運営を行い、限られた資源を効果的に事業配分し、質の高い行政サービスを町民に提供できるよう、その実現に全庁一丸となって取り組まれることを望みます。



手話言語法制定を求める意見書を可決

議員から提出のあった請願を本会議で採択し、委員会提出議案として1件の意見書を審査し、可決しました。可決した意見書は、国会及び政府に送付しました。

手話言語法制定を求める意見書（抜粋）

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語です。手話を使う聴覚障害者にとって、手話は大切な情報取得とコミュニケーションの手段です。

我が国においては、障害者権利条約の批准に向けて、国内法の整備を進めており、平成23年に障害者基本法を改正し、同法第3条第3号において「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること」と定められ、手話は言語に含まれることが明記されたところです。

さらに、同法第22条には国・地方公共団体に対して情報の利用におけるバリアフリー化等を義務付けており、それに基づいて、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学び、自由に手話を使い、更には手話を言語として普及、研究することができる環境整備に向けた法整備を国として実現する必要があります。よって、国におかれましては以上の状況を踏まえ、適切な措置を講じられるよう強く要望します。

26年度一般会計補正予算を可決

一般会計は、歳入歳出それぞれ1億9100万円を追加して総額8億2860万円としました。補正の主なものは多目的グラウンド整備事業や小学校トイレ改修工事などで、賛成多数により原案のとおり可決しました。

主な質疑

議員 多目的グラウンドにスケートボード場をつくる計画になっているのか。
企画財政課長 多目的ドームの東側にスケートボード場を作ります。
議員 スケートボード場は無料で開放するのか。
企画財政課長 グラウンドは有料ですが、スケートボード場は無料で開放する予定です。
議員 スケートボード場のイメージは。
企画財政課長 ローラースケートやインラインスケートもできる施設を考えています。

多目的グラウンド整備費（追加分）	
スケートボード場等実施設計委託料	350万円
多目的グラウンド整備工事	1800万円
多目的グラウンド周辺整備工事	4400万円
一般備品購入費	600万円
役場庁舎耐震改修工事（追加分）	4160万円
学校管理費（小学校）	
トイレ改修工事設計委託料	100万円
トイレ改修工事	1000万円
非常備消防費	
庄分団全国操法大会出場等補助金	790万円



多目的公園にスケートボード場の建設賛成

現在スケートボードは大変人気がありますが、スケートボード場がないため、青少年はしてはいけない場所でスケートボードをしています。きちりした施設を提供することで、してはいけない場所でスケートボードをする方が減ってきます。青少年育成のためにも、また、住民の方のニーズに応えるためにも、スケートボード場の建設を求めます。



賛成討論

前川裕量議員

多目的公園にスケートボード場の建設反対

スケートボード場は幼児から高校生まで幅広い年齢の方が利用されると予想されます。利用される方の技術も様々で、接触事故なども想定されます。町の施設でケガがあった場合、町に責任がかかってくる場合もあります。スケートボード場よりも、噴水や熱中症対策用のミストシャワーの設置を求めます。



反対討論

木村いづみ議員

【和解の内容】（要旨）

被告らは原告に対し、連帯して1017万1750円の支払義務があることを認める。
 被告らは原告に対し、前項のうち800万円を支払う。
 ・平成26年10月末日までに 600万円
 ・平成27年2月末日までに 200万円
 被告らが前項の分割金を遅滞なく支払ったときは、原告は被告らに対し、第1項のその余りの支払義務を免除する。



損害賠償請求事件和解へ

福崎町が下水道工事におけるマンホール調整コンクリート工事等に係る施工不良の手直し工事に要した調査及び工事費の支払いを求めた損害賠償請求事件について、被告が提示していた和解案を受け入れることを全会一致で可決しました。

任期 平成26年10月1日
 住所 福崎町南田原
 2957番地1
 〓平成30年9月30日



教育委員に
 谷口喜久美氏を同意

任期 平成27年1月1日
 住所 福崎町八千種
 200番地
 〓平成29年12月31日



人権擁護委員に
 玉置明美氏を同意

教育委員とは？

委員は、首長が議会の同意を得て任命します。任期は4年です。教育長以外は非常勤で、月1～2回の定例会などで教育行政の重要事項や基本方針を合議制で決定します。

豆知識

人権擁護委員とは？

人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアです。人権擁護委員制度は、様々な分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたものです。

第25期(株)もちむぎ食品センターの決算内容を報告

議員 検討委員会から提出された改善の提言はどのようにいかされているのか。
地域振興課長 26年7月から専務を中心に現場主導で運営しています。経費節減ができません。見直しに努めます。
議員 今、辻川界限が非常ににぎわっています。姫路城や竹田城と連携して、広域的な観光を進めてはどうか。
地域振興課長 バス会社や旅行会社にダイレクトメールを出し、もちむぎのやかたに立ち寄ってくださるように働きかけています。
議員 26年度からもちまき生産組合の方が(株)もちむぎ食品センターの監査役に就いている。もちむぎ生産組合からの選出役員は監査役になるべきではないと考えるがどうか。
町長 監査役も取締役も大きな差はありません。



もちむぎ商品

どちらも役員会に出席され、しっかりと発言されています。
議員 取締役は議決権があり、監査役には議決権がない。大きな差だと考えるがどうか。
町長 監査役のご意見は極めて大きな比重を占めています。社長として大きな差はないと考えています。
議員 辻川山公園が河童の仕掛けによりにぎやかになっている。もちむぎのやかたへの来客人数は増えているが、利益が上がっていないのではないのか。
地域振興課長 来客人数が増えている一方、一人当たりの使ってくださる単価は下がってきています。
議員 貸借対照表を見ると2200万円くらいの製品関係の在庫がある。その内容は、
地域振興課長 在庫はお中元に作り置きしたそうめんがほとんどです。

会計年度を4月1日から翌年の3月31日までにするために、第25期の決算は7ヶ月の期間になっています。

第25期(株)もちむぎ食品センター決算状況
 (平成25年9月1日～平成26年3月31日)

売上高	80,632,185円
売上総利益	13,331,099円
営業利益	3,523,842円
経常利益	2,979,229円

25期は8月の売上(お中元)が入っていません



は赤字です。

第457回(9月)定例会提出議案と審議結果

議案等番号	件名	審議結果
報告第16号	第25期株式会社もちむぎ食品センター決算報告	「報告」は質疑を行います ますが、討論・採決は ありません。
報告第17号	平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	
報告第18号	議会の委任による専決処分の報告(西光寺地区下水道舗装本復旧工事(その2))	
議案第46号	人権擁護委員の推薦	賛成全員 同意
議案第47号	教育委員会委員の任命	賛成全員 同意
議案第48号	平成25年度福崎町一般会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第49号	平成25年度福崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第50号	平成25年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第51号	平成25年度福崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第52号	平成25年度福崎町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第53号	平成25年度福崎町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第54号	平成25年度福崎町水道事業会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第55号	平成25年度福崎町工業用水道事業会計歳入歳出決算認定	賛成全員 認定
議案第56号	平成25年度福崎町水道事業剰余金処分	賛成全員 可決
議案第57号	平成25年度福崎町工業用水道事業剰余金処分	賛成全員 可決
議案第58号	福崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	賛成全員 可決
議案第59号	福崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	賛成全員 可決
議案第60号	福崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	賛成全員 可決
議案第61号	福崎町保育の必要性の認定に関する条例の制定	賛成全員 可決
議案第62号	平成26年度福崎町一般会計補正予算(第2号)	賛成多数 可決
議案第63号	損害賠償請求事件に係る和解	賛成全員 可決
議案第64号	福崎町道路線の廃止及び認定	賛成全員 可決
議案第65号	工事請負契約(川端雨水幹線工事(第2工区))	賛成全員 可決
請願第2号	手話言語法制定を求める意見書の提出	賛成全員 採択
意見書案第2号	手話言語法制定を求める意見書	賛成全員 可決

各議員の本会議等における議案に対する 意思表示および出席状況	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	氏名	宮内富夫	木村いづみ	牛尾雅一	城谷英之	富田昭市	北山孝彦	石野光市	前川裕量	松岡秀人	難波靖通	小林博	高井國年	釜坂道弘	志水正幸	
採決の結果	平成26年度一般会計補正予算(第2号)	賛成 12 反対 1	○	×												-
出欠の 状況	本会議1日目(9月5日)		出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
	本会議2日目(9月9日)		出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
	決算審査特別委員会1日目(9月10日)		-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出
	決算審査特別委員会2日目(9月11日)		-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出
	決算審査特別委員会3日目(9月12日)		-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出
	決算審査特別委員会4日目(9月16日)		-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出	-	出
	総務文教常任委員会(9月17日)		出	-	出	-	出	-	出	出	-	-	-	-	出	出
	民生まちづくり常任委員会(9月18日)		-	出	-	出	-	出	-	-	出	出	出	出	-	出
	福崎駅周辺整備対策特別委員会(9月19日)		出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
	本会議3日目(9月25日)		出	出	出	出	出	出	出	出	早	出	出	出	出	出
本会議4日目(9月26日)		出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	
本会議5日目(9月29日)		出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	

注1 賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。その他の議案についてはすべて全員賛成で同意・認定・可決・採択されました。

注2 「出」は出席、「早」は早退、「遅」は遅着、「」は一部退席です。

注3 志水議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。また、総務文教常任委員会以外の委員会には議長として出席します。

注4 委員会の出欠については所属する委員のみ表示しており、「-」の委員は出席の必要はありません。

役場庁舎耐震改修工事始まる

平成27年1月完成予定



昭和50年に完成した役場庁舎は、旧耐震基準で設計されており、耐震診断の結果、強度が不足していることが判明しました。このたび耐震改修工事を行うのは災害時にも機能できるように耐震強度の向上を図るためです。

工事期間

平成26年7月～

平成27年1月末（完成予定）

多目的公園の建設始まる

平成26年9月末の総予算額 5億1470万円

【内訳】

・多目的グランド整備	4億2494万円
・周辺整備	6700万円
・設計・工事監理他	1676万円
・備品	600万円

図書館南の用地に来春のオープンに向け、多目的広場、全天候型多目的ドーム等の整備が進められています。誰もが天候を気にせずスポーツやレクリエーションができるように、ドーム方式を取り入れ、県産木材による木製ドームでは国内最大級の規模となります。

施設概要 全天候型ドーム 約2,000㎡
グランド 約2,000㎡
(管理棟、遊具広場、駐車場、スケートボード場を設置)

委 委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 員 員 員 長 長
宮 前 富 志 釜 石 牛
内 川 田 水 坂 野 尾
富 裕 昭 正 道 光 雅
夫 量 市 幸 弘 市 一



多目的ドーム建設現場（10月26日撮影）

「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月スタート予定

新制度の主な内容

町内すべての保育所・幼稚園が「認定こども園」に移行します。

認定こども園とは

教育と保育を一体的に行う施設
幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
地域の子育て支援も行う施設

豆知識

就学前教育の対象年齢が広がります。

現在福崎町では5歳児だけが就学前教育となっていますが、新制度では、3歳～5歳児となり、保育を必要としない家庭の子どもも希望すれば、3歳から認定こども園を利用できます。

巡回バス「サルビア号」 郊外便 前年に比べ利用者が2倍に！

4月から運行方法を変更している巡回バス「サルビア号」の4月～6月の利用者は、前年の同じ時期に比べ、約2倍になっているとの報告を受けました。

これは、川西地区の郊外便の運行方法が、電話予約が必要な予約型運行から定時定路線型運行に変更になったことが大きな要因だと考えています。

期 間	郊外便	
	利用者数	日平均
平成26年4月～6月	1080人	14.6人
平成25年4月～6月	576人	7.8人

委員会からの意見

単に効率化や採算性ばかりを問題にするのではなく、住民福祉の最大化に焦点を当て取り組んでください。



備もちむぎ食品センター 経営改善にさらに努力

8月25日に開催された委員会で経営改善実行計画書とその進捗状況について報告がありました。

委員からの質疑

委員 経営改善について、平日のレストランの営業時間はどうなるのか。
地域振興課長 平日のレストランの営業時間を17時まで短縮しました。

(平 日 11:00～17:00)
(土 日 祝 11:00～19:00)

部門	実施内容	進捗状況
レストラン	メニューの精査（年間販売点数の少ない品目を整理）	38品目から22品目に削減
	町民向けの割引キャンペーンの実施	26年に続き27年1月にも実施予定
売店	Facebookの運用	Facebookを開設
組織改善	従業員の配置転換	一部従業員の配置転換

ため池耐震化を図っています

25年度にため池の耐震点検調査を実施した結果、三谷池(板坂)、上池(桜)、直谷池(山崎)は、震度5相当の地震に対する安全性を満たしていなかったため、対策工法を検討しながら耐震補強をすとの報告がありました。

委 委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 員 員 員 員
松 難 高 木 北 城 小
岡 波 井 村 山 谷 林
秀 靖 國 づ 孝 英
人 通 年 み 彦 之 博

26年度では、三谷池(板坂)、上池(桜)、直谷池(山崎)のため池耐震整備計画書を作成
・請負業者 玉野総合コンサルタント(株)
・工 期 平成26年8月2日～
27年3月25日
・請 負 額 1512万円



福崎駅周辺整備対策特別委員会

9月19日に委員会を開催し、福崎駅周辺整備室から次のような報告がありました。

用地測量・物件調査が順調に進んでいます

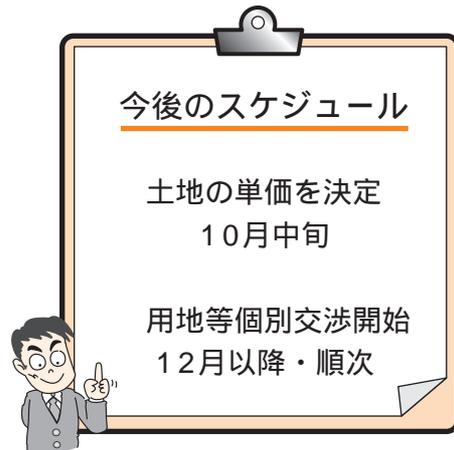
用地測量は約95%の境界立会いが完了したとの報告がありました。

測量面積	9020㎡
対象用地	55筆
対象内容	境界復元、境界確認、分筆図作成等

関係機関との協議が進んでいます

事業推進に必要な予算を確保するため、国土交通省へ要望書を提出しました。また、同時に兵庫県道路整備課と個別に協議を進め、事業の円滑な推進に努めています。

事業スケジュール



年度・月 路線等	26年度		27年度				28年度	
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月
甘地福崎線	用地交渉		物件移転完了				工事	
駅南幹線	用地交渉		物件移転完了				工事	
駅前広場	用地交渉							
年度・月 路線等	28年度		29年度				30年度	
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	
甘地福崎線	工事							
駅南幹線	工事							
駅前広場	物件移転完了		工事					

議会広報常任委員会

第80回町村議会広報研修会に参加

研修日 平成26年7月10日・11日

研修先 東京都内



研修報告

親しまれる議会だよりをめざして

全国町村議長会主催による議会広報研修会が東京都内で開催されました。議会広報常任委員会委員が受講してきましたので、その概要を報告します。

7月10日

- ・わかりやすい表現・表記のために
- ・議会広報誌の編集
- ・写真の見方、考え方

分かりやすさの基本は箇条書きの精神で切れ目をつける。
前文、見出しなどを利用し、次に何を述べるのか前もって知らせる。
表記は読みやすく。常用漢字の範囲で表す。

7月11日

議会広報クリニック（議会だより第130号）

芳野政明氏によるクリニックを受けました。



ここが聞きたい

一般質問

10人の議員が町政を問う!

「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。

都市計画道路の大門福田線は存続を

廃止後も地域の皆様と整備手法を検討していきます



牛尾 雅一

問 県道三木穴粟線の大貫から市川町方面へ、その逆の市川町方面から大貫への通過交通等を考えると地元自治会内の交通安全確保のためにも大門福田線のルートは存続し整備が必要と考えるが、

まちづくり課長 都市計画道路廃止後の安全で良好な地区形成を図るため地域の皆様と一緒に整備手法を検討し、通過交通については安全対策を講じます。

問 学校施設の維持補修は建物の劣化軽減を図るため計画的な実施を求め

学校教育課長 今後施設

の長寿命化と大規模改修の計画を策定し順次改修を実施していきたいと考えています。

問 高岡小学校通学路の安全対策のため運動場東の道路側溝のフタかけと防犯灯の設置を求める。
まちづくり課長 フタかけは急勾配で滑り易く、現況水路の構造から困難と考えます。
学校教育課長 防犯灯設置は検討を進めます。

問 役場南の中国道ボックスは歩道がなく大変危険だ。歩行者・自転車専用のボックスを現ボックスの片側の擁壁を利用して東隣に作れないか。多額の費用が掛かるので基金を募り、また多方面に交渉し実現は出来ないか。
企画財政課長 事業着手につながるほどの寄付金を集めるのは困難と考え



危険な役場南中国道ボックス

LINEによるいじめ問題はありますか
1件報告を受けております



前川 裕 量

問 現在スマートフォン等のITの普及により新たな社会問題が起きている。特に今、中学生でLINE等によるいじめが大きな問題となっている。中学生の携帯電話等の通信機器の普及率はどれくらいか。

教育長 生徒の携帯普及率は42%と聞いておりますが、ネットに接続できる機器はもつとあると思われる。

問 中学校内での携帯などの通信機器は、どのような利用制限をされているのか。

教育長 学校では正しい情報教育の指導を行い、

保護者にはフィルタリング、生徒会では全校集会等でルールづくりに取り組んでおります。ネットトラブル対策講座などを実施しております。

問 LINEによるいじめ問題が当町にあるか。教育委員会として把握されているか。

教育長 1件報告を受けて

ております。

問 IT問題の専門家等を教育委員会に配置をされているかどうか。

教育長 現在県警から指導員を学校に招いて生徒や保護者に講習会を開いておりますが、今後も専門家の力を借りながら取り組みたいと考えております。



無料通信サイト

問 昨年12月4日、「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコによって無形文化遺産登録された。日本栄養士会のHPで1977年頃の伝統的な食事に肉類、果実などが適度に加わり、健康的でバランスのとれた食生活が完成し、これを日本型食生活と呼び、これが日本人の体格・平均寿命を改善したが、最近では米の消費量が減少し、脂質の消費が増加するなど生活習慣病の増加が問題になっていると記されている。食育が健康教育にも通じており、基本的な自炊する力を中学卒業まで



石野 光 市

自炊する力を中学卒業までに
夏休み等に家庭で習得できるように推進します

に身につけるような目標を設定してはどうか。

健康福祉課長 夏休み等を利用して、家庭で調理体験する機会をもつことは有用で推進します。

問 子どもの虐待について厚生労働省のHPで深刻な状況が発表されている。事件・事故になる以前のネグレクト(適切な食事や歯科診療等を怠る例)も全国的に増加傾向にあるといわれている。これを予防・早期対応す

る手だてはどうか。

健康福祉課長 児童虐待防止マニュアルを作成し医療機関、学校等に配布し、早期発見、対応をはかっています。

問 南ランプの南側の播但道側道にある南田原水路沿いに播但道の法面の樹木や草が繁茂し、水路の管理上、改善を求める。まちづくり課長 道路管理者に適正な管理について要望するとともに水路の管理にも努めます。



南田原川(南ランプ南の水路)

土砂災害の対策はできているか

順次、砂防堰堤に取り組んでいます



宮内 富夫

問 今夏天候不順で全国各地で記録的短時間集中豪雨が発生した。特に8月20日未明の広島市で起きた災害は昭和40年代に山裾を開発した造成地で甚大な災害となった。当町でも同時期に山裾を開発された造成地が西治地区にある。ここは、北西面はゴルフ場があり南面を宅地造成している。危険度はどうか。

まちづくり課長 当地区では県により砂防堰堤が整備され、土砂災害については、一定の対策はとられていると考えていますが、自然災害では安全が完全に担保されたと言



砂防堰堤（西治地区）

えないので今後も注意を払って見守って行かなければなりません。

問 短時間集中豪雨では避難勧告・避難指示が遅れて出されている。見極めが大事である。また、深夜雨の音で防災無線も聞こえない。停電している状況下での災害情報の発信はどのように考え対応策はどうか。

住民生活課長補佐 適切な

な情報を出せるように常に気象情報は注意して状況把握に努めています。深夜、停電や豪雨で防災無線も聞取れない状況もあると思います。広報車で回り、消防団、区長さんを通じ情報を流します。災害メール等あらゆる手段を講じるつもりです。

「ふるさと納税」をもちむぎ食品センターへよく検討します



釜坂 道弘

問 「ふるさと納税」を活用して農業の振興に取り組み、納税額に応じてお礼として地域で取れた米でお返しするサービス

企画財政課長 25年度では22件で539万円でした。
問 当町でも寄付金をもちむぎの関連事業に特化した「ふるさと納税」のサービスと仕組みを考え、町財政からの持ち出しはなく、もちむぎ食品センターの業績を上げる方法

を考えてはどうか。
町長 他との関係も考慮しながら検討をしていきます。

問 福崎町では、今年の春に辻川山公園に設置した河童が全国的に話題となっている。これらは柳田國男の著書「故郷七十年」に登場する河童伝説がモチーフになっている。この河童が住んでいたとされているのが駒ヶ岩付近であり、観光の重要な



整備が待たれる河童のふるさと駒ヶ岩

拠点でありながら観光客を案内することすら出来ない荒れた状態が続いてきた。市川アメニティのメンバーにより駒ヶ岩までかろうじて行けるように保っていただいた。今後、町としての取り組みは。

地域振興課長 今後は辻川界隈の観光の一環としての取り組みを検討していきます。

危険ドラッグ「手をだすな」

危険性の啓発を進めます



富田 昭市

手を出させない取り組みは。

健康福祉課長 ポスターによる啓発や高校生に薬物乱用の危険性について啓発を進めています。

問 近年、お酒を飲んで引き起こす事件や事故・犯罪等が発生している。それに、多量の飲酒によって引き起こされるアルコール依存症は、暴力などで家庭崩壊を招くだけでなく、うつ病を伴う自殺や飲酒運転による交通事故や飲酒運転などにも深く関わっている。行政として飲酒に対する最新情報で健康管理等の徹底を求め、健康福祉課長 県の指導を仰ぎながら、今後、積極的に検討を重ね適正な指導を進めてまいります。

問 危険ドラッグを吸引しての事故・事件が兵庫県でも多数発生している。



危険ドラッグの危険性を啓発するポスター

問 インターネットによる増え続ける消費者被害を防止し、消費生活の安定と向上を目的とした本町の取り組みは。

地域振興課長 中播磨消費生活センターと連携をしたり、町広報での情報や出前講座等で啓発を行っています。

問 悪徳商法による高齢者の被害が増加している。特に、電話での勧誘販売や送り付け商法が目立つ。相談体制の強化を。

地域振興課長 神崎郡で高齢者の被害防止対策委員会を立ち上げ、見守り体制を強化しています。



北山 孝彦

永年にわたっての福崎駅周辺整備

動きだした福崎駅周辺整備

問 福崎駅周辺整備に係る事業説明会が行われた。現在、事業用地の周辺測量及び物件調査が進められている。進捗状況と今後の予定は。

技監 用地測量は、約95%の境界確認を終えています。物件調査は現在94%まで進んでいます。将来の不安を感じさせないよう、代替地や移転先には、誠意をもって対応していきます。

問 事業計画では5ヶ年と、非常に厳しい工程と思うが、予算及び執行体制は十分なのか。

技監 想定以上の早期の買取りの申し出に備えて、

土地開発公社を活用した円滑な事業推進に努めます。また皆様と、十分な話し合いを持ち、丁寧な対応をしていきます。

問 七種川の護岸工事が進められるが、工事箇所はどこか。

問 福田地区で砂防事業が進められているが、整備箇所はどこか。

問 今後の事業スケジュールはどうなるか。

まちづくり課長 福田橋を中心を上流160m、下流190mで全体延長は約350mです。



進められる七種川護岸工事

災害ボランティアにベスト(チヨッキ)を

年度内に作成予定です



木村いづみ

への水の運搬も3日間行いました。

問 防災無線は大雨の際聞こえにくいですが、改善策は。

住民生活課長補佐 業者

による子局の点検、拡声器や音量の調整を行っています。災害、火災情報については、ふくさき防災ネットやお知らせメールの利用をお願いします。

問 警報発令時、核家族、

夫婦共働き世帯の多い中で小学校低学年の子どものみで自宅待機しているのは、安全と思われるのか。10時に警報解除となつた場合、10時に登校できないのか。

学校教育課長 給食の準備が間に合わないのです。

13時登校になっていきます。有効な方法があるか、今後研究していきます。

構想は練っています

「天狗」も河童のような仕掛けて



城谷英之

っていないのか。

企画財政課長 交付税措置については、平成25年度に比べ1000万円の増となっていますが、退職給付金増額分を含んで

います。

問 消防団に対する装備品について、3月に質問

しているから、その後どうなっているのか。

住民生活課長補佐 必要

と思われる装備、資器材等、計画的に配備していきたいと思えます。

問 今後も春日山周辺の整備を行うべきではないか。

農林振興課長 今年度は、県の補助を受け、案内板の改修や登山道の階段の補修を行っています。山頂の展望が良くなればと考えています。

問 『災害ボランティア』は、地震や津波、洪水などの大規模自然災害の被災地での活動に欠かせない存在だ。当町民の方も8月24日に約20名の方が災害ボランティアとして丹波市に行かれた。『福崎町災害ボランティア』と一目でわかるベストは作れないか。

健康福祉課長 社会福祉

協議会が今年度内に作成を予定しています。

問 福崎町の水を丹波市に持って行かれたと聞いたが支援内容は。

上下水道課長 飲料水2

千リットルを持って行き、現地の貯水池から集会所



災害ボランティアの方が着用されているベスト
写真提供：宮城県社会福祉協議会

問 兵庫県では、治山ダムに力を入れているが、これからの福崎町の計画は、どうなっているのか。

まちづくり課長 平成26

年度は、西田原・中ノ谷地区、その後は東田原・森本地区の予定です。

問 昨年12月に消防団支援法が確立され、消防団一人当たりの交付税が引き上げられ国が打ち出している消防団支援法による交付税措置は、増にな



2号機と入れ替った弟の河次郎

都市計画見直しは総合的見地を

理解を得ながら進めます



小林 博

問 都市計画道路の見直しはまちづくり全体の整合性あるものになっていない。町北部の東西連携雨水排水計画、用途地域指定等総合的な検討が必要である。道路計画は骨格であり、そのみを廃止するのは問題だ。県の見直しガイドラインでは現実味のある代替案がある時に廃止が認められるとしている。今回の場合代替案も明確でなく、議会と都市計画審議会で表明した関係地区への説明会もされなかった。町民への積極的な説明責任を果たすべきである。都市計画道路見直しは原点に

もどすべきと考える。

まちづくり課長 理解を得ながら進めます。

問 行政施設の管理について。市川河川公園等

6公園の日常管理を委託しているが現況は契約通り実行されているとは思えない。一括管理委託を検討すべきだ。慰霊塔は町施設、責任を持った管理が必要ではないか。

副町長 委託方式は検討します。

住民生活課長補佐 町の責任ある管理をします。

問 七種山周辺を自然・歴史・文化・観光など総合的な位置づけを明確にすること。トイレの整備は緊急課題だ。

地域振興課長 町での位置づけは理解しています。トイレは研究しています。



七種山トイレ

傍聴者からの声

都市計画道路の整備計画見直し 今後に期待

9月26日

今回、初めて議会を傍聴させていただきました。議会では、一般質問が行われていました。詳細な、また広範囲にわたる事項について質疑応答がされておりました。

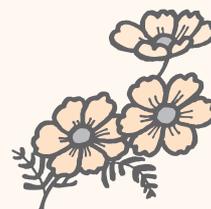
各議員さんがよく調査、研究されており感心しました。また、幹部の方々も福崎町発展のために一層の精励をお願いします。

私が特に関心があったのは、都市計画道路の整備計画見直しに関する質疑応答で、大変参考になりました。今後に期待します。

町議会を傍聴することは、傍聴者の勉強になりますが、議員及び町幹部の方々の良い刺激になり、励みになると思います。

誰でも傍聴できますので、多くの方が傍聴されたら良いと思います。

西田原地区（男性）



～福崎町議会報告会及び意見交換会にお越しください～

議会報告会は、議員が議会活動の状況を町民に報告・説明し、町政に関する情報を提供するとともに、町議会に対するご意見、町政に対するご提言をいただく貴重な機会です。町民との交流を通じて議会の機能を高め、活力のある発展を目指しています。

第1回議会報告会

開催日時：平成26年11月22日(土)
19時から
開催場所：福崎東中学校体育館

第2回議会報告会

開催日時：平成26年11月30日(日)
13時30分から
開催場所：福崎西中学校体育館

* どなたも、どちらの会場でもご参加いただけます。事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

フォトニュース

全国消防操法大会 2連覇を目指して 庄分団



全国消防操法大会壮行会（10月18日）

定例会の日程

12月

- 5日(金) 本会議（議案上程）
- 9日(火) 本会議（質疑）
- 10日(水) 総務文教常任委員会
- 11日(木) 民生まちづくり常任委員会
- 12日(金) 福崎駅周辺整備対策特別委員会
- 17日(水) 本会議（一般質問）
- 18日(木) 本会議（一般質問）
- 19日(金) 本会議（討論・採決）

この日程については予定であり、変更となる場合があります。

編集後記

「備えあれば憂いなし」
全国の至るところで、
豪雨による浸水被害、土
砂災害、御嶽山の噴火な
ど想定外の自然災害が起
きています。被災された
多くの方に心よりお悔や
みとお見舞いを申し上げます。
今議会において、防災
についての一般質問が多
くなされ、当町において
も自然災害に対応すべき
施策について論議されま
した。
一人ひとりが防災意識
を高め、町から配布され
た「防災マップ」をいつ
も見えるところに貼り
避難所の確認、非常持ち
出し品等を常日頃からチ
ェックしておくことが大
切だと思えます。
(木村いづみ)

議会広報常任委員会
委員長 難波 靖通
副委員長 石野 光市
委員 牛尾 雅一
委員 北山 孝彦
委員 木村いづみ
委員 松岡 秀人

ふくさき議会だより第132号
平成26年11月6日発行

発行/兵庫県福崎町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/中井総合印刷株式会社

福崎町議会へのお問い合わせ、ご意見ご要望は下記へ

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL(0790)22-0560 FAX(0790)22-2342
メールアドレス：gikai@town.fukusaki.hyogo.jp/
ホームページ：http://www.gikai.town.fukusaki.hyogo.jp

福崎町議会 で検索できます。

この広報誌は再生紙を使っています。